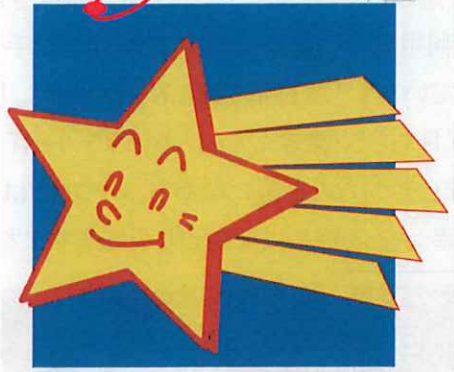


GINGA 通信



第41号【年2回発行】

- **ぎんが工房** 障害福祉サービス (就労継続B型・生活介護・日中一時)
- **きららベーカリー** 障害福祉サービス (就労継続支援B型)
- **コスモス** 障害者支援施設 (施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時)
- **コスモス通所** 障害福祉サービス (生活介護)
- **びゅー** 居宅介護・行動援護・移動支援・日中一時支援 等
- **きらり** 放課後等デイサービス
- **相談室りゅうおう** 障害児者相談支援・自立生活援助・地域移行支援等
- **雀のお宿 I・II・III** 共同生活援助
- **雀のお宿** 認知症高齢者グループホーム
- **おひさま** 障害福祉サービス (生活介護)
- **らしりば** 障害福祉サービス (就労継続支援A型)
- **ミラテラス** 共同生活援助

社会福祉法人 **ぎんが福祉会**
 〒400-0118 山梨県甲斐市竜王 267-3
 TEL 055-278-2266 FAX 055-278-2267

ごあいさつ

日頃より、ぎんが福祉会へのご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

令和2年より就労継続支援A型「らしりば」、グループホーム「ミラテラス」がスタートし、悩みながらの施設運営とともに、新型コロナとの闘いの3年間でした。コロナ禍での施設運営は、感染防止に神経を尖らせ恐怖さえ覚えた時期もありました。現在では5類に分類され社会の意識もだいぶ変わってきていますが、現実には感染者数も増加傾向にあると耳にします。メディアからの情報の希薄さに惑わされる事なく、継続して感染予防対策に励む必要性を感じており、さらに意識を希薄化させない事が今の私達に求められているのだと思います。

就労継続支援A型の取り組みを行う中で、悩み迷う事が多々あります。自分らしく生きる為の手段のひとつが仕事としたときに、「働くこと」の意味、意識の持ち方がメンバー・スタッフの共通理解のすれ違いによって仕事の楽しさ、やりがいに繋がっていないと感じるようになりました。それはクッキーの生産に迫られ、A型事業所の運営ばかりに視点がいていたことが原因です。先日メンバー・スタッフ全員で何でも言い合えるミーティングを開催しました。その中で作業がうまくいかないこと、作業の効率化、新しい製品の開発などいろんな意見が出ました。その時感じたのが自分だけが悩み迷っていたわけではなくみんなも同じように考えてくれていたんだと、改めて事業や仕事は人同士の信頼やサポート・コミュニケーションが大切だなと感じさせられました。

物価高騰や人件費の上昇などA型事業所にとって厳しい運営が強いられる時代になりますが、「らしりば」全員で「もがいてみよう」と思います。

大谷翔平選手の言葉より

『成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事。』

らしりば/ミラテラス管理者 久保田 ひろみ

生活介護事業所 令和6年4月開所予定

詳細=P8



ぎんが工房



暑い日が続きましたが、ぎんが工房に通所の皆さんは元気にこの夏を過ごしていました。それもそのはずぎんが工房の給食は、栄養士と調理員が「安心・安全」をモットーに一致団結し、利用者の皆様の元気の源を作るお手伝いをしています。毎月嗜好調査を行い、リクエストを聞いてメニューを検討しています(月1回お楽しみ給食あり)。時にはフードバンク様からの寄贈品もメニューに取り入れて、冷凍おせち入り五目ちらし・栗きんとん入りデザート・有頭えび鴨肉ラーメンなども提供しました。最初は戸惑いながらも「これ何?美味しそう」などと言いながら、いつもとは違う給食に満足し、あっという間に完食してくれました。美味しい物を食べると幸せな気持ちになり元気が出ますよね。これからもバランスよく美味しい給食を提供できたらと思っています。

また、ぎんが工房の活動の様子を多くの皆様にお知らせたくInstagramを配信しています。写真と動画で投稿しておりますのでアプリをダウンロードするかQRコードを読み込んでご覧ください。



↓ 大人気!!



夏芋のグラタン



メルルーサのチーズ焼き



カフェ風サラダ(チキン)



ペンネアラビアータ



さばの塩焼き



とんかつ(サルサソース)



富山ブラック風エビラーメン



ぶた井



ジャガイモと豚肉揚げ



きららベーカリー



5月に新型コロナウイルスが5類になった事もあり、利用者間の親睦会や、10月には旅行(富士すばるランド等)を企画しています。

6月12日(月)店舗休業日に合わせて、利用者同士の親睦会をきららベーカリー内でおこないました。当日は皆で話し合いメニューを決めました。内容は自分達が食べてみたい3種類(エビピザ、カレーピザ、マシュマロ&チョコピザ)のピザ、ポテトサラダ、コーンスープ、ババロアの6品。親睦会なので日頃携わる事が無いポジションで、和気あいあいと調理をしていました。

9月5日、Say Say Sayの雑誌10・11月号掲載に向けた取材があり、その様子を下記に載せました。

親睦会

Say Say Say 取材中!



新メニューのパンと5種類のパウンドケーキ





暑い夏を乗り切るために「お肉を食べてスタミナをつけよう！」とプチ BBQ を行いました。連日外は暑い日が続いたため、エアコンの効いた涼しい室内でホットプレートを使い、お肉やエビ、野菜などの食材を焼いて楽しみました。偶然にも高級なお肉を提供していただき、「口の中でとろけるね！」と美味しさに皆で感動していました。



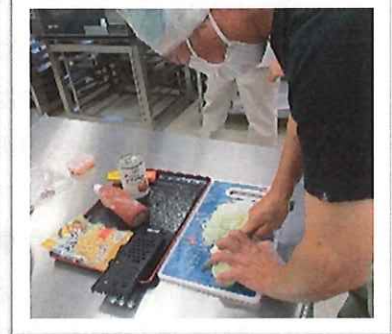
8月にはらしりばと合同で「夏祭り」を行いました。中でも盛り上がったのが「流しそうめん」と「スイカ割り」で、流しそうめんではお椀山盛りになるまでそうめんをすくい「そんなに食べられる？」と皆で笑い合いました。スイカ割りでは、らしりばの方たちと協力して声を掛け合い、スイカがきれいに割れた時は大変盛り上がりました。普段中々交流の機会がありませんが、とても一体感のある楽しい時間でした。



今年の6月で開所から3年を迎え、4月から新しい仲間も増えてますます賑やかになりました。クッキーの生産で忙しい毎日ですが、早く作業が終わった日にアメリカ発祥の郷土料理「チリコンカン」を作りました。「チリコンカンって知ってる？」という一人の利用者の方からの問い掛けから、皆さん食べてみたい！と声が上がリレシピを持って来てくださいました。そのレシピをもとに皆で作業を分担しながら完成させ、「こんな味なんだ〜！」「パンに合うね！」などの声が聞かれ、暑い夏にぴったりの少しピリ辛なチリコンカンを楽しみました。



チリコンカン



8月には「らしりば夏祭り」を行いました。焼きそばやお好み焼き、フランクフルトにかき氷と夏祭りの定番メニューが並びました。また、流しそうめんとスイカ割りも行い、スイカ割りでは「もっと右！前！」と言って皆で応援しながら4人目の挑戦者できれいに真っ二つに割れ、歓声が上がりました。その他にもヨーヨー釣りや輪投げも用意し「懐かしいね〜」「こんなに難しかったっけ？」といった声も聞かれました。輪投げでは景品を用意し、入った輪の数だけお菓子を選び、皆さん楽しんで頂けたようです。夏をたくさん満喫した一日となりました。

グルーブホーム雀のお宿 (高齢者)

新型コロナウイルス感染防止対策により外出支援や、外部の方を招いてのボランティア活動は行えていませんが、6月に「100歳」の誕生日を迎えられた方がいらっしゃいました。誕生日当日はご家族と外出され、昼食を共にされています。雀のお宿の皆様とのお誕生日会は後日行いました。甘い物が大好きで、あんこよりもケーキが大好き。職員が何かお手伝いをすると「ありがとね」と言うくださり、藤山一郎 (歌手 1911-1993)さんが大好きで、映像がテレビから流れるとじっと食い入るように観られています。誕生日を無事迎えられた事に職員も安堵し、いつまでもお元気で一緒に過ごす事ができたらと思っています。

今年の夏はとても暑く、暑い中でも「換気」は必ず行っています。熱帯夜での換気は、高齢の方には少し負担があったかもしれません。こもり熱で、微熱が続く方もおられました。暑かった今年の夏も朝夕は少しずつ涼しくなり、もう少しで終わります。秋になったら散歩を再開し、皆さんの笑顔を見られたらと思います。



グルーブホーム雀のお宿 (障がい者)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのに伴い、少しでも皆さんの行動に変化が見られるようになりました。運動施設を利用していた方は、利用を再開しています。夏休みに撮りためていたビデオを観たいからと、自宅に帰る方もいました。その中で、「友人と旅行に行っても良いですか?」と相談に来られた方もいました。日帰り旅行で「静岡方面、に行きたいとの話でした。いつもは寝坊して時間ギリギリに仕事へ出かける方ですが、「早く出かけるので、明日は朝食はいりません」と職員に話し、嬉しそうに出かけて行きました。帰宅後、「初めて「海鮮丼」を食べた。めっちゃ、美味かった!」と、とびきりの笑顔で報告をしてくれました。

まだまだ、感染対策をしての行動になりますが、その中で、皆さんは楽しい事を自分なりに見つけて行動しています。食堂で皆と一緒に食事をしたり、リクエストに上がっている焼き餃子づくりを楽しめる日も近いかもしれません。

一日でも早くコロナが収束する事を願うばかりです。



おひさま

おひさまでは年に数回グループ企画を実施しています。内容は通所されている皆さんに意見を出していただき決めていきます。7月には「流しそうめん」を行いました。皆流れてくるそうめんを意識を集中しキャッチしていました。他にもピザトーストやお好み焼き・かき氷を作り美味しくできて好評でした。8月にはスタバへ行ったり、すいか割りや夏祭りを行いました。すいか割りでは、すいかを持ってみたり、上手に割れたあとは皆で美味しく頂きました。夏祭りの内容は皆で話し合い「もぐらたたき」「金魚すくい」「虫とり」「宝つり」に決まり、ゲームの後にはお菓子やかき氷を味わいながら食べました。BGMが流れる中での夏祭り、お祭り気分がアップして皆楽しみました。秋にはまた楽しい企画を計画しているので、次回のぎんが通信で掲載したいと思います。



流しそうめん



相談室りゅうおう

今年度、相談室りゅうおうでは、山本、橋本、澤登、秋山の4名に加え、新たに鴨田が相談支援専門員として加わり、5名体制(内2名兼務)となりました。193名(内児童11名)の方の計画相談を行っています。来年4月には昭和町に新規事業所「みなぼし」が開所予定となっておりますが、新たに利用される方がスムーズにサービス利用できるように、計画相談の事業所としても人員体制を整えております。

新人職員紹介

【鴨田理恵】

相談室りゅうおうに配属される前は、きららベーカリーで約5年勤務しておりました。相談室りゅうおうに配属されてから5か月経過しましたが、いろいろ勉強ができて充実しています。

広い目で、利用者のご家族、事業所、そのほか本人とつながりのあることを見れるようになってきたこと、また、それが、本人にとって大切であることがわかってきました。また、相談員として、それらをつなげていく役割を担っていかなければならないと感じています。

利用者やご家族の困りごと、相談したいことにできるだけ迅速に対応できるようにしていきたいと思っています。きららベーカリーの支援員だった時は、相談員に利用者のことを相談することはありましたが、現場の職員でできることは限られていました。相談員になったことで、本人の困りごとに対して、自分自身が対応したり、関わる支援者と協力をして、困りごとを解決できるようにしていきたいと思っています。



コスモス入所

新型コロナウイルス感染症予防のため外出が思うようにはできませんでしたが、季節を感じに近くの公園へ散歩に行ったり、季節行事のレクを実施したりしました。桜の時期には皆さんから「散歩に行きたいね」という声が聞かれます。天気にも恵まれ満開の桜を見ることができました。「綺麗だね」「見られて嬉しい」という気持ちが表情と共に伝わってきて職員も嬉しかったです。季節の行事ではこどもの日の塗り絵に取り組みました。皆さん集中して塗ってくれてカラフルで素敵な鯉のぼりと兜の壁飾りが出来ました。七夕の時期には短冊に願い事を書いて吊るしました。皆さんの願い事が叶いますように！今後も利用者の皆さんが喜ばれる活動をしていきたいと思ひます。

ドラゴンパークにて



コスモス通所



初秋の季節とはいえ暑い日が続きますが9月2日に夏祭りを開催しました。「夏・お祭り」でイメージするのは・・・ビール！という事でドリンクスペースには、お茶・ポカリスエット・オレンジジュースの他に『こどもビール』もメニューに加わりました。コップに注ぐと本物のビールと同じで皆大喜び。「本物のビールみたいで酔っぱらっちゃう。」なんて冗談も(笑)。味は微炭酸のアップル味。美味しくておかわりする人も何人かいました。その他にも、金魚すくい・お菓子くじ・福引・大人気だった綿あめ！！ピンクか黄色の好きな方を選び、自分で作りながら「美味しそうな匂い。甘い匂いで楽しみ」など大盛り上がり！機械から出てきた綿あめをいそいそと巻くと最初は巻き付いてくれるのですが、作っているうちに割りばしから抜けてしまったり・・・思い思いの綿あめ作りでした。もちろん待っている人たちも匂いだけでなく、フワフワの綿あめを味見しながらのとても楽しい1日を過ごしました。



びゅー

今年は例年に比べ暑い夏となりました。まだまだ残暑が続きそうですが、利用者の皆さんも感染防止対策をしながら外出を楽しんでいます。7月には、河口湖の大石公園にラベンダーを見に行ってきました。駐車場に車を止め車から降りるとラベンダーの良い香りがし、会場には富士山をバックに一面にラベンダーが咲き誇りとてもきれいで圧巻されました。ラベンダーを見ながら少し散歩し水分補給しました。



8月は、南アルプス市乗馬センターで乗馬のレッスンを行いました。ご指導して頂いている方から「安定した姿勢でいいですね」と褒めて頂きとてもうれしそうな表情が印象的でした。レッスン後には、お世話になった馬に慣れた手つきで人参を上手にプレゼントしてコミュニケーションを取りました。その後センターの方のご厚意で、桃狩り体験をさせていただきました。桃狩り体験では、大きく実った桃が木にたくさんなっていて、どれを採ろうか迷ってしまうほどでした。厳選した桃を慣れないながらも一生懸命収穫していました。

新型コロナウイルスが5類移行され、これからまた以前のようにイベントや外出の企画も少しずつ考えていきたいと思えます。



きらり 放課後等テイサービス

今年の夏はとつても暑い日が続きましたが、きらりの子どもたちはみんな元気でした。毎日笑い声の絶えない、楽しい夏休みを過ごすことができました。夏休みといえば水遊びです。怖がりながらも足を水につける子がいたり、豪快に水を飛ばす子がいたり、遊び方や楽しみ方はそれぞれです。工作活動ではジェル石鹸やキャンドルを作りました。ジェル石鹸はぷにぷにした手触りが気持ちよくて、楽しくなって手洗いの時間が長くなってしまいます。キャンドルは中に自分で選んだ貝殻やおはじきを入れました。あれもこれも入れたくなって、ついついたくさん入れすぎてしまったり……。調理活動はカレーやホットケーキ、アイスクリームも。「じゃがいも切る人！」と聞くと手が挙がるのに、「玉ねぎ切る人！」と聞くと返事がありませんでした。玉ねぎが目に染みたことが忘れられなくて逃げる子もいました。どんな活動にもぎやかで大騒ぎの夏休みでした。



美容室編

日々お世話になっている方をご紹介します



今回は、『中村移動美容室』の広瀬仁美さんをご紹介します。

県内の病院・介護施設・福祉施設・児童施設・地元での在宅訪問などでご活躍されており、ぎんが福祉会とは平成13年頃よりぎんが工房とのお付き合いからが始まりです。現在は、コスモス入所・コスモス通所・おひさま・雀のお宿で、月に1~3回各施設に訪問していただき、カットやカラーなどで利用者の皆さんと関わっていただいています。

真面目で優しく、落ち着いた明るい人柄は、利用者や職員からも信頼され安心してお任せできる美容師さんです。車椅子でのカットはその人ごとに整う体勢が違うため、背中にクッションをあてたり職員の補助などで、できるだけ利用者に負担をかけないよう短時間に行います。その間、利用者の表情や体調を見ながら笑顔になるように話しかけてくださり、楽しいひと時でもあります。広瀬さんの仕事に対する姿勢や言葉遣い・気遣いは、介護職にも共通することがあり職員も勉強になります。この仕事で一番気を付けていることは、ケガをさせないこと。また、苦痛や押さえたり我慢させたりといったことがないように心がけているそうです。

神奈川県出身で、10代で国家資格を取得し神奈川・東京での美容室を経験後、ご家庭の都合で峡東地域に来られました。市役所の紹介で『移動美容室』という仕事を知ったことから現在に至ります。いろいろな方々との関わりの中ご主人との出逢いがあり、一男一女のお母様です。「ここまでこれたのは、いつもいいご縁に恵まれて周りの方々のおかげです。ストレスなんて無いんです。」といつもの明るい笑顔でおっしゃいます。好きな言葉は『笑う門には福来る』だそうで、まさにその通り。きっと利用者の皆さんも1~2か月に一度の美容室の時間は、さっぱり綺麗になると同時に広瀬さんの明るい笑顔と会話で癒されていると思います。

これからも多くの利用者・職員と関わっていただき、『福』のおすそ分けをいただけたらと思っています。

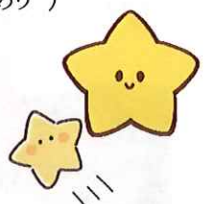


障害福祉サービス事業所 **みなぼし** (生活介護・定員20名・入浴支援あり)

令和6年4月 中巨摩郡昭和町河西106 に開所予定です。

お問い合わせ先 **ぎんが福祉会本部** / 小松 055-278-2266

おひさま施設長 / 久保 055-288-8827



《編集後記》 雀のお宿から100歳を迎えられた方の記事を頂いた時、驚きとともにほっこり嬉しくなりました。私たちの想像もつかない戦争体験など色んなことを乗り越えて、また時代の流れに順応しながら、若い人たちに「ありがとう」の感謝を素直に伝えられてとても素敵な生き方だと思います。感謝される側も幸せを感じありがとうございます。今回も、通信発行にあたり大勢の皆様にご協力いただきありがとうございました。 <広報委員一同>